

令和8年度 第1回 学校運営協議会議事録

校名	府立吹田高等学校
校長名	大川 賢司
開催日時	令和8年6月19日(金)15:00~17:00
開催場所	府立吹田高等学校 本館2階 会議室
出席者(委員)	岡崎守夫会長、樋口由美子委員、堀内孝雄委員、中田輝美委員
出席者(学校)	大川賢司校長、小澤靖典教頭、北村元事務長、安藤圭祐首席、武仲拓海教諭
傍聴者	0名
協議資料	令和8年度学校経営計画及び学校評価、公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠、姉妹校交流、大阪教育ゆめ基金 等
備考	

議題等(次第順)
<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度学校経営計画及び学校評価について「承認されました」 ・令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について ・姉妹校交流について ・大阪教育ゆめ基金について ・その他
協議内容・承認事項等(意見の概要)
<p>以下の通り質疑応答・意見交換を行った。</p> <p>○令和8年度学校経営計画及び学校評価について 校長、首席より資料3について説明</p> <p>質問：講習補習についてはたらきかけはどのようにしているか 回答：1学期中間考査前に「放課後アカデミア」と題した、学習面での困りごとの解消できる機会を設け、自由な参加を促したところ、15名の参加があった 意見：組織化していけば増えるのではないか</p> <p>質問：相互授業見学の回答をしやすくしたらよいのではないか 回答：グループフォームでの回答にした</p> <p>質問：さくら連絡網はどのようなものであるか 回答：双方向の保護者との個人連絡ツールである。 意見：SNSでのやり取りだけでなく、生の声も聴くほうがよいのではないか 回答：今年度から学年携帯を設置しており、電話で保護者とのやり取りを頻繁に行っている</p> <p>質問：原級留置生・退学者の数値と要因 回答：成績不振と年度途中で人間関係や学校が合わないなどの理由で転退学してしまう生徒がいる 意見：保護者にもっと自習室などいい部分の発信を行っていけばよいのではないか。会話しながらできる自習室があればよいのではないか。</p> <p>質問：みかん会議はなぜそのような名前になったのか 回答：生徒相談室をみかんルームと呼んでおり、生徒相談に関する会議を行うからである ：みかんルームという名称は、来室のしやすさから付けられた</p>

校長：入学時でのミスマッチを減らしていかないといけない。そのために、SNSを含め、広報に注力している。また、本校生徒に母校で広報を行ってほしい。わかる授業の展開を目指して教員の授業力向上の取り組みを行っている。

校長質問：授業力向上について、片山中学校ではどのような取り組みを行っているか

委員回答：研究授業を行い、協議を行っている。年2回公開週間は見学に行き、向上を目指すとともに、研修会に参加している教員もいる。大学教授による授業研究も行っている。

○令和10年度以降の公立高等学校入学者選抜に係る学校特色枠について

校長より資料4について説明

・気軽に行けたり、出欠が自由になったりなどの部活動に変えていきたい方向性で動いている

質問：募集割合（人数）はどうやって決まるのか

回答：教育庁で決まっていくこととなる

質問：募集定員の先に特色枠をうめていくのか？

回答：そうである

質問：部活動での特色枠について、中学校の部活動の実施状況などはどのようになっているか

委員：吹田市は全面外部委託に向け、金銭面などの問題はあが進んでいる

○姉妹校交流について

首席より説明

・補助金は後日返金という形なので、一時負担で15万円程度かかることが懸念点である

意見：鳳志会の学校教育活動支援金から姉妹校交流に支出してもよいのではないかと思うが、今後検討していく

○大阪教育ゆめ基金について

教頭より資料6について説明

質問等なし

○その他

質問：交通ルールは守れているのか

回答：ほとんどが守れているが一部守れていない生徒もいる
：狭い道が多く安全面についての不安がある

質問：携帯トラブル（犯罪）防止のための指導などを行っているのか

回答：SNS講習、人権学習を学年集会で外部講師を招いて行っている

質問：保護者あての啓発は行っているのか

回答：生徒指導の指導方針に掲載している案内文を配布している

意見：保護者と協力していただく必要があると感じている

次回の会議日程

日時

令和8年11月20日（金）14:30～

会場

府立吹田高等学校 本館2階 会議室